

生徒たちにとって「本当にいい先生」って、どんな先生？

「親切、丁寧、分かるまで指導します」



他塾のチラシを見るとこれらの文言をよく目にします。確かに、親切・丁寧・分かるまで指導することはとても大切なのですが、塾の言う親切って、本当に 生徒にとっての親切 な指導なのでしょうか。

基本的には「親切、丁寧、分かるまで」は大切だと思っていますし、そのつもりで指導しています。しかし、私達の考える「親切・丁寧・分かるまで」は、他塾や一般的な感覚とは少し違うように感じます。

育脳寺子屋は「**答えを教えない指導**」を理念としています。あくまで考え方、解き方は教えるけど、それを使って答えにたどり着くのは生徒本人の仕事です。そのくり返しが、今学んでいることを定着させ、蓄積され、実力になり、後に結果へと結び付くのです。

しかし「**答えを教えない指導**」は「**先生のペースで一方向的に進む授業**」とは違い、**生徒自身が自分で頭をひねり、あれこれ工夫しながら、自ら答えにたどり着く必要がある**ので、**時間がかかる上に、大変に感じる**のです。(でもこの方法でないと、**本当の力は身につけません**)

つまり、私達は私達なりの「親切、丁寧、分かるまで」の指導方法を行っているのですが、生徒たちの考える「親切、丁寧、分かるまで」とは少し印象が違うのです。

私達の指導は『不親切・不自由・不便』です。でも**そのような環境が生徒自身を成長させる**ので、結果的にはこの『不親切・不自由・不便』は生徒にとって本当は『親切』だと思ふのです。

「これからの時代を生きて行ける人」とは

AIが進化し、誰も経験したことのない時代を生きる今の子ども達。そんな子どもたちに我々は何を教えるべきなのでしょう。

よくおわकारの通り、今までの様な「学歴」はもはや何の武器にもなりません。

当然学歴もあって、自ら考える力もある人には関係のない話なのですが、進学のための勉強をし、学歴は手に入れたけど、勉強したこと（経験したこと）以外には自ら考え対応できないという人は、社会では必要とされないのです。

確かに、今巷でよく耳にする「英語」や「プログラミング」のスキルがあれば、近い将来の社会では必要とされると思います。

しかし、時代は信じられないスピードで変化し続けています。

つまり、今必要とされているスキルと、少し先の未来に必要とされるスキルは違っている可能性が高いのです。

そんな変化の著しい社会で必要とされるためには、時代と同じスピードで変化（成長）し続けられる人でなければなりません。

これからの時代を生きていける人、それを一言で言うならば

『自ら学び続け、成長を続けられる人』

これからの時代は「今何ができる」「今どんなスキルがある」、ということ以上に、「時代の変化に合わせて、その人自身がどれだけ変わっていけるか（成長できるか）」ということを求められているのだと感じます。

社会人一年目のスタートの段階で、持ち合わせているスキルには差があるかもしれませんが、その後は40年近く社会人として働くわけですから（もう今の時代は50年ですね）。

そう考えると社会人になった時点での差なんてないに等しいのです。**大切なのは、常に自ら学び続け、時代とともに変化し続けられる「伸びしろ」なのです。**

面接官はそこを意識して、学生たちを見ています。

『生き残る種とは、最も強いものではない。最も知的なものでもない。』

それは、変化に最もよく適応したものである』 チャールズ・ダーウィン「種の起源」

時代が変わっても、物事の真理は変わらないようです。

長期的にみて本当に役立つ、必要な力を育てるのは一朝一夕ではできませんし、なかなか「成果」というものが目に見えにくいのです。しかし、そこを目指さなければ意味がありません。これからも私達は、表面的な「親切、丁寧、分かるまで」ではない、『生徒たちにとって本当に親切』な指導を続けていきます。